

# 平成 26 年度江津市中心市街地活性化協議会事業報告

## I. はじめに

江津市中心市街地活性化協議会は江津商工会議所と NPO 法人てごねっと石見が発起人となり商店会や地域住民、地域経済界、医療福祉・教育関係、行政機関などの団体に参画を呼びかけ、平成 26 年 5 月 30 日に 35 団体が参加して設立総会を行った。

本協議会は法定協議会として、江津市中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進に取り組むとともに、本年は特に中心市街地活性化基本計画の認定を目指し計画（案）の協議検討を中心に行って来た。運営委員会では平成 26 年 7 月 4 日に開催した第 1 回運営委員会を皮切りに 12 月までの間に 3 回の委員会を開催し、専門部会としてのワーキング部会（商業活性化部会、公共施設活用部会）の設置や事業予定者等のアドバイザー会議などを行い、基本計画（案）の協議検討を重ねてきた。

これらを踏まえ、平成 27 年 1 月 20 日に開催した第 2 回総会において、江津市がまとめた「基本計画（案）」について最終検討を行い、官民が一体となって行う 5 カ年間の活性化事業としては「おおむね妥当」との結論に達し、同年 2 月 2 日に協議会会長より江津市長に対し「基本計画（案）」に対する意見書の提出を行った。

また、本協議会はこれまで江津駅前地区活性化推進協議会が中心となって進めてきたまちづくり活動支援事業の活動や取組を引き継ぎ、まちづくりの情報発信や賑わい創出に向けた民間まちづくり計画の推進も積極的に支援してきた。

以下、平成 26 年度事業実績について報告を行う。

## II. 事業報告

### (1) 協議会活動推進事業

#### 1. 中心市街地活性化の総合的・一体的な推進のための協議

##### ①総会の開催

##### ◎第 1 回総会（設立総会）

- 開催日時 平成 26 年 5 月 30 日（金） 10:00～11:30
- 開催場所 江津商工会議所 3F 大会議室
- 設立発起人 江津商工会議所、NPO 法人てごねっと石見
- 加入構成員 35 団体 42 名
- 会議内容 規約の制定、役員選出、事業計画及び事業予算の決定

- 役員
 

会長	永井良三（江津商工会議所会頭）
副会長	永井好輔（江津商工会議所副会頭）
	横田 学（NPO てごねっと石見理事長）
運営委員	27名
- 出席者数
 

来賓	：7名、構成員	：31名、事務局他	：12名
----	---------	-----------	------

## ◎第2回総会

- 開催日時
 

平成27年1月20日（金）	10:00～11:45
---------------	-------------
- 開催場所
 

江津商工会議所	3F 大会議室
---------	---------
- 出席者数
 

構成員	：26名、オブザーバー	：2名、事務局他	：14名
-----	-------------	----------	------
- 会議内容
  - (1) 協議会構成員の異動について報告
  - (2) 江津市中心市街地活性化基本計画（案）の承認
  - (3) 基本計画（案）に対する意見書の提出について承認

## ②運営委員会の開催

### ◎第1回運営委員会

- 日時：平成26年7月4日（金） 13:00～15:20
- 内容：
  - (1) 運営委員会委員長、副委員長の選出
  - (2) 協議会構成員の新規加入及び異動について
  - (3) 運営委員会の進め方と当面のスケジュールについて
  - (4) 江津市中心市街地活性化基本計画（案）について
  - (5) 中心市街地再興戦略事業補助金の概要について
  - (6) ワーキング部会の設置について
- まとめ：
  - 協議会規約により運営委員会委員長、副委員長を選出
    - ・委員長：永井好輔（江津商工会議所副会頭）
    - ・副委員長：横田 学（NPO 法人てごねっと石見理事長）
  - 市より基本計画（案）の詳細について説明を受け協議・検討を行い、江津市の現状分析や、中活計画のエリア等について質疑を行い、引き続き協議検討を行うこととした。
  - 活性化事業に向けて必要な事業の検討や新規事業等の掘り起しを行うためにワーキング部会（商業活性化部会、公共施設活用部会）の設置を行うこととした。
- 講演会：
  - 第1回運営委員会では、併せてまちづくり講演会を行った。
    - 演題「米子市のまちづくりと協議会の役割について」
    - 講師：（独）中小企業基盤整備機構・協議会アドバイザー  
杉谷第士郎 氏

## ◎第2回運営委員会

- 日 時：平成26年10月17日（金）15:00～16:20
- 内 容：（1）江津市中心市街地活性化基本計画（案）について  
（2）平成26年度 収支予算補正について
- まとめ：○ワーキング部会（商業活性化部会3回、公共施設活用部会2回）の協議状況を報告し、基本計画（案）における民間事業について具体化を図るため協議検討を続けることとした。  
○市より内閣府への事前協議や事業予定者との協議により、修正を行った基本計画（案）について説明を受け、協議検討を行い、「公共交通の状況」や「駅前における駐車場の現状」、「防犯カメラの設置」、「基本計画の目標指標」等について質疑を行った。

## ◎第3回運営委員会

- 日 時：平成26年12月4日（木） 13:30～14:40
- 内 容：（1）江津市中心市街地活性化基本計画（案）について
  - ・ワーキング部会の協議検討状況報告について
  - ・内閣府の現地調査、指摘事項等について
  - ・基本計画（修正案）について
  - ・基本計画（案）に対する意見書の提出について
- （2）報告事項について
- まとめ：○ワーキング部会（第4回商業活性化部会）の協議状況を報告し基本計画（案）に記載する民間事業について提案を行った。  
○市より内閣府への事前協議や運営委員会からの提案、事業予定者との調整により、最終修正を行った基本計画（案）について説明を受け協議検討の結果、提案されている基本計画（案）は中心市街地の活性化に向け期待が持てるものであり、認定基本計画（案）としての承認を行った。  
○協議会の意見書の提出が必要となることから、協議会総会を開催し協議会の総意として意見書の提出を行うこととした。

## ③ワーキング部会の開催

江津市中心市街地活性化基本計画（案）に定める目標達成に向けては、協議会会員をはじめ関係者が連携して中心市街地の活性化に資する事業を構築し、より効果的なものとする必要がある。このため、運営委員会における協議課題を踏まえ、関連するテーマごとにより深く事業内容を研究す

る必要があり、運営委員会にワーキング部会（商業活性化部会、公共施設活用部会）を設置した。

## 【活動状況】

### ◎商業活性化部会

#### ●設置目的

商業活性化に向けて必要な事業の検討及び基本計画（案）に記載された事業の具体化と新規事業の掘り起こしを行うとともに、商業活性化に関する目標指標を設定する。

#### ●参画構成員

江津商工会議所、NPO法人てごねっと石見、江津万葉の里商店会（協）グリーンモール、(株)江津未来開発、フォアジー有限責任事業組合、(同)創、(一社)江津青年会議所

#### ●部会開催状況

- ・第1回 平成26年7月18日（金）13:30～15:30（商工会議所 研修室）
- ・第2回 平成26年8月26日（火）10:00～12:00（商工会議所 研修室）
- ・第3回 平成26年9月29日（月）15:00～16:45（商工会議所 研修室）
- ・第4回 平成26年12月1日（月）13:00～14:30（商工会議所 研修室）

#### ●協議・検討結果

アドバイザー（まちづくりコンサルタント/梶岡誠生氏）を招き、専門的知識を交えながら事業実施予定者ごとに個別のヒアリングを行うとともに、全4回の部会を通して基本計画に記載する事業案を取りまとめた。また、市から示された目標指標（案）について協議し、妥当であると合意した。

### ◎公共施設活用部会

#### ●設置目的

まちづくりの拠点施設として建設される公共公益複合施設（H28.7 オープン予定）の有効活用と賑わい創出に向けて必要な事業や活用方法について協議・検討を行う。

#### ●参画構成員

江津商工会議所、NPO てごねっと石見、江津市、高浜地区活性化協議会、江津市観光協会、西部島根医療福祉センター、江津市社会福祉協議会、NPO ちゃいるどりーむ、ポリテクカレッジ島根、島根県立大学

## ●協議・検討状況

### ○第1回公共施設活用部会

- ・日 時：平成26年8月25日（月）15:00～17:00
- ・まちづくり研修会（部会の他協議会構成員に案内、52名の参加）  
講師：青森県八戸市 八戸ポータルミュージアム館長 風張知子氏

### ○第2回公共施設活用部会

- ・日 時：平成26年10月1日（水） 15:00～17:15

## ●考察・今後の取組

- ・関係者・市民等による協議・検討を十分に行う中で、市民・利用者が活用しやすい運営形態や事業について計画作りを行って行くことが必要である。3月8日に行った市民ワークショップ「ごうつ未来カフェ」で出された意見を参考にしながら、次年度も多くの市民に参加を呼びかけたワークショップ等を開催する中で、市民が参加しやすく活動しやすい運営形態や事業を検討していく。

## ④事務局会議

協議会の機関会議としては、総会、運営委員会、タウンマネジメント会議が設定されているが、本年度はタウンマネージャーを設置していないため月2回開催する事務局会議においてタウンマネジメント会議も随時行った。

### 【開催日時】

事務局を設置した平成26年6月～平成27年3月までの間に事務局会議、タウンマネジメント会議等を月2回、計20回実施。

## 2. 協議会活動を円滑に行うための事業

### ①広報事業

協議会会員や市民と連携し中心市街地活性化を円滑に行うためには、まちづくりの状況やイベント、協議会の活動状況等について広く情報提供する必要がある。このため江津市中心市街地活性化協議会のホームページを立ち上げてまちづくりの情報を広く広報することとした。

今後は、このホームページを通じて中心市街地の活性化事業の取組状況や協議会の活動状況等を会員や市民に情報提供し、中心市街地活性化を円滑に進めて行くための普及・啓発を行うとともにまちづくりサポーター等の参画につなげ、まちづくりの推進を図って行く。

◎ホームページ作製委託 業務内容

- ・WEB サイト企画、既存サーバーへの設定
- ・WordPress 構築・設定・初期デザイン作成
- ・基本情報作成 (5P)

◎ホームページアドレス：<http://52chu-katsu.com/>

## ②研修事業

中心市街地活性化基本計画（案）の検討や活性化事業の総合調整を円滑に行うため、協議会会員や運営委員会委員、事務局関係者等を対象にスキルアップを図るため研修会を実施した。

1) 第1回研修会（平成26年7月4日 14:40～15:20）

- ・第1回運営委員会において、米子市中心市街地活性化協議会の杉谷氏をお招きし、運営委員会委員を対象にまちづくり講演会を実施した。
- 演題「米子市のまちづくりと協議会の役割について」
- ・講師（独）中小企業基盤整備機構・協議会アドバイザー 杉谷第士郎 氏  
（前米子市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー）
- ・参加者 運営委員：26名、事務局関係者：14名 計40名

2) 第2回研修会（平成26年7月18日 18:30～21:00）

- ・中心市街地活性化基本計画（案）の検討を行い、新規民間事業等の発掘を行うためには関係者のスキルアップが必要であり、まちづくり専門家を招聘し、事務局関係者を中心に勉強会を行った。
- ・講師 埼玉県越谷市タウンマネージャー 梶岡誠生 氏
- ・参加者 事務局関係者8名（江津商工会議所、てごねっと石見、江津市）

3) 第3回研修会（平成27年1月20日 11:00～11:45）

- ・平成27年1月20日に開催した第2回中活協総会の出席者を対象に議事終了後、まちづくり講演会を開催し研修・意見交換を行った。
- 演題 「中心市街地活性化の意義とまちづくりの取組」
- ・講師 梶岡誠生 氏（埼玉県越谷市タウンマネージャー）
- ・参加者 構成員他 28名 事務局関係 14名 計42名

### ③人材育成事業

- 事業目的：中心市街地の活性化を推進し、中心市街地活性化基本計画認定後の事業推進を図って行くためには、まちづくりの専門的知識を持ったタウンマネージャーの設置等が必要であり、地域に根付いた人材の発掘と育成を実施する。
- 実施状況：中央で行われたまちづくり研修や先進地での現地滞在実地研修にTM候補者1名の派遣を行った。

◎研修参加者：盆子原照晶（事務局員：NPO てごねっと石見理事）

- ・まちづくり座学研修（9/3～4 東京都）
- ・まちづくり長期実地研修（10/2～5 青森市）
- ・長期実地研修事後報告会（12/10～11 東京都）

### (2) まちづくり活動支援事業

商店会や地域関係者、NPO法人、商工会議所、行政等が参画しまちづくり活動支援を行って来た江津駅前地区活性化推進協議会の活動を引き継ぎ、まちづくりの情報発信や地域の意見調整、空き店舗対策やイベント実証、駅前ホテル建設支援等民間事業計画支援に積極的に取り組んできた。

#### ①まちづくり情報発信事業

中心市街地におけるまちづくりの状況を広く江津市民や市外江津市縁故者へ情報提供し、中心市街地活性化を円滑に進めるための普及・啓発を行うとともにまちづくりサポーター等の参画につなげる取組を行った。

#### ◎具体的取組

エキマエシンブンを発刊（NPO法人てごねっと石見へ業務委託）し、中心市街地における活性化事業の取組状況やイベント、新規創業の店舗紹介などを市民に情報提供した。エキマエシンブンは年3回（9月末：秋号、12月末：新春号、3月末：春号）発刊し、江津市広報に折り込みを行い市内全戸へ配布した。

#### 【発刊状況】

- 2014秋号：9月末発刊（江津市広報10月号折り込み 12,000部発刊）
- 2015新春号：12月末発刊（江津市広報1月号折り込み 12,000部発刊）
- 2015春号：3月末発刊（江津市広報4月号折り込み 12,000部発刊）
- 新成人号：1月2日成人式にて配布（300部発刊）

## ②まちづくり視察研修事業

民間事業計画を推進していくためには、実施主体となるまちづくり会社の設立や事業計画の具体化が必要である。このため、当初計画では商業者や地域関係者を対象にまちづくり先進地への視察研修を計画していたが、本年度は中心市街地活性化基本計画（案）検討協議のため、ワーキング部会や専門家を招聘したアドバイザー会議等を数多く開催したため、参加者の調整が困難となり中止とした。

## ③まちづくりワークショップ事業

### 【事業目的】

中心市街地活性化の目玉事業である駅前公共公益複合施設が、平成 28 年度にオープンする予定である。複合施設に配置される機能のなかでも、市民交流センターにおいては、幅広い分野において市民の主体的なまちづくりへの参加を促すことで、中心市街地のみならず江津市全体の活力を創出することが期待されている。

このため、施設の活用に向けた第一歩として、施設に関する情報提供を行うとともに、ワークショップの手法を用いて現在市内等で活動している人と参加者との意見交換を行うことにより、まちづくりへの興味を引き出し、施設を活用して活動したいという市民の裾野拡大を目指す。

### 【実施状況】

#### ◎公共公益複合施設活用ワークショップ

「まちの魅力を見つける！つくる！ ごろつ未来カフェ」

- 開催日時： 平成 27 年 3 月 8 日 13:30～16:30
- 開催場所： 江津商工会議所 3 階 大会議室
- 参加数： 54 名（一般申込者 38 名、テーブルホスト 7 名、コーディネーター 1 名、主催者（事務局他）8 名）
- 開催内容：
  - 1) 公共公益複合施設の概要紹介
    - ・江津市都市計画課
  - 2) 活動事例発表
    - ・「学生と江津～地域で学び、創造する」（島根県立大 学生）
    - ・「すごいぞ！江津のやきもの」（浜田高等学校 阿部志朗 教諭）
    - ・ビジコン大賞受賞プラン（石見麦酒 山口 梓 代表）
  - 3) グループワーク：ワールドカフェ形式（15 分×3 セット実施）



## 【実施状況写真】



<事例発表：県大生>



<テーブルトークの状況>

### ④イベント実証実験

賑わいイベントとして定着してきた手つなぎ夜市、手つなぎ市を継続実施するとともに、商店会個店の情報発信やまちづくりの情報発信を行うことで、まちづくりの参画者を増やし、日常的な来街者を増やすためいろいろなイベントに取り組んできた。今年度は他事業で実施しているうわさプロジェクト事業と共催して事業実施した。

### 【事業詳細】

- うわさラボ来訪者の写真展示
  - ・実施時期：7月11日～8月16日
  - ・写真展示数：300枚
  - ・来場者数：約1,500人



<うわさラボの状況>

- うわさバッジの作成と配布
  - ・実施時期：7月11日～8月15日
  - ・実施方法等：うわさプロジェクトに関わったことを証明するうわさバッジを商店会メンバー、市民有志、島根県立大学の学生有志などで作成し、集客イベント時に配布した。  
(バッジ 4200枚作成)



<うわさバッジの作成に取り組む高校生>

●集客イベント（手つなぎ市、江の川祭り）の実施と展開

- ・実施時期：7月26日（手つなぎ夜市）、8月16日（江の川祭り）
- ・実施方法等：うわさ神社ではうわさおみくじを引いてもらい、うわさ屋台ではうわさバッジを配布した。ボランティアには島根県立大学の学生・NPO 法人のスタッフに協力をしてもらった。



<イベント当日の状況>

【事業成果】

毎年夏季に実施される集客イベントにおいて、今年度は個店の情報発信だけでなく、一般市民を巻き込んだ仕掛け（バッジ、写真展示など）により、多くの市民が商店街へ足を運ぶキッカケをつくることができたと考える。

本プロジェクトでは、来街者が気軽に本プロジェクトへ参加できるための仕掛けとして、うわさバッジを作成した。バッジ等の作成を商店会だけでなく、広く一般市民にも参加してもらうため、商店街にある空き店舗を借り、活動拠点（うわさラボ）を設置した。うわさラボはJR江津駅前、国道9号に面した場所にあり、人目に付く場所を選んだ。うわさラボは、バッジ等の作成のほか、バッジの配布も行い、バッジを身につけてくれた来街者には写真を撮らせてもらい、うわさラボ内に写真を展示した。それらの写真を見にうわさラボを訪れる人もおり、商品やサービスの売り買い以外にも中心市街地へ来街するキッカケとしてうわさラボが機能したと考える。

【考察・所感】

事業の実施時期は、夏に行われる江津市の一大イベント「江の川祭」（参加者約6万人）、同時期に開催している商店街歩きイベント「手つなぎ市」（参加者約2千人）に合わせた。この時期は県外からの帰省客が多く、多くの帰省客がイベントへ参加することから、チラシやポスターによって、上記イベントと同時期に本プロジェクトを実施することを周知した。また、イベント当日は、うわさバッジを配布するための屋台（うわさ屋台）、うわさおみくじが引ける移動式の神社（うわさ神社）を出店した。屋台と神社は、それぞれ通行量の多い場所として、手つなぎ市の時には商店街内の十字路に、江の川祭りの際にはJR江津駅前のロータリー内に設置した。これにより多くの来街者にアピールし、バッジを配布することができた。うわさおみくじは、事前に各店舗やうわさラボなどで配布しているうわさバッジを身につけてくる

ことを条件とした。これにより、複数回中心市街地へ来街することを狙った。イベント当日はうわさおみくじもすべて配布でき、複数回来街してもらうという目的は達成できた。

以上の事業を実施し、従来商店街が持つ商業機能のほかに、情報発信という新たな機能を持たせることで、来街者を増加させ、新規および継続的な顧客の獲得、同時期に開催されるイベントと連携させることで、商店街の活性化につなげた。今後は、収集した商店の情報を活用した商店街マップなどの新たな情報発信ツールの作成を検討したい。

### (3) 中心市街地活性化推進事業

#### ① 専門人材確保事業

##### 【事業目的】

民間事業者が行う商業活性化事業等に対し、企業経営の経験や見識があり、まちづくりに対して専門的な知識を有する専門家を招聘し、指導・助言等の支援を行い、民間活性化事業の具体化と推進を図る。

##### 【具体的取組】

平成27年3月認定を目指している「江津市中心市街地活性化基本計画」に記載し、中心市街地で事業実施予定している事業者等に対し、事業計画の立て方や具体化、事業実施に向けた事前調査や補助金申請などのアドバイスを行った。また、民間事業者等を支援し、事業推進を図っている協議会事務局でも、民間事業の企画作り、国庫補助金申請等の指導を受けた。

##### 【実施詳細】

###### ◎第1回(9/29, 30)

対象者：・商業活性化部会、事業予定者(合同会社「創」)、事務局

内 容：・商業活性化部会の役割について

・まちづくり会社としての「創」の活動について

###### ◎第2回(10/29, 30、 11/2、 11/5)

対象者：・事業予定者(合同会社「創」、フォアジー有限責任事業組合、田中氏、てごねっと石見)、事務局

内 容：・まちづくり会社としての取組と活動について

・共同店舗事業の取組について

・銭湯プロジェクト事業についてヒヤリング

・商業活性化部会関連事業(事務局)について

- ・公共公益施設の活用方法について
- ・商業施策の展開コンセプト案について

◎第3回（11/18, 19、11/21）

- 対象者：・事業予定者（合同会社「創」）、商業活性化部会、事務局
- 内 容：・合同会社「創」の活性化事業計画案について
- ・商業活性化事業の調査のやり方等について
  - ・公共公益施設の活用事業計画案について

◎第4回（2/2, 3）

- 対象者：・協議会事務局
- 内 容：・中活協 HP の作り方について
- ・次年度以降の事業の進め方について
  - ・民間事業計画の実施に向けた調査事業について

◎第5回（3/9, 10）

- 対象者：・協議会事務局
- 内 容：・再興戦略補助金、専門人材活用申請等について
- ・国庫補助金申請書の書き方（民間事業企画作り）について
  - ・民間事業計画の実施に向けた調査事業について

### Ⅲ. 総括

江津市中心市街地活性化協議会は商店会や地域住民、経済団体、医療・福祉関係者、行政、商工会議所、NPO 法人等多くの関係者が参画し、平成 26 年 5 月 30 日に法定協議会として設立された。以後、本協議会は法定協議会として「江津市中心市街地活性化基本計画（案）」について協議検討を重ねるとともにまちづくり推進機関として情報発信や研修事業、空き店舗対策やイベント実証などのまちづくり活動支援事業にも積極的に取り組んできたところである。

長い間懸案であった江津駅前地区の再生事業は、本年 3 月 27 日に「江津市中心市街地活性化基本計画」が内閣総理大臣の認定を受けたことにより、いよいよ本年 4 月より平成 32 年 3 月までの 5 か年計画が本格的にスタートする。今後は基本計画に記載された民間事業の具体化と堅実な実施が必要であり、中心市街地の活性化を総合的かつ一体的に推進していくタウンマネジメント組織としての本協議会の役割は益々重要となる。